

# 【 多職種連携研修に関する基本方針 】

## 《 策定の基本認識 》

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れている地域で安心して自分らしく生活していくためには、その高齢者を支える医療・介護関係者の役割は非常に重要であり、適切な支援を行うため関係者には常にそれぞれの専門職としての資質の向上が求められているほか、今日では、自らの職責を果たすだけでなく、多様な専門職との緊密な連携を図ることが重要となっている。

この多職種間の連携を推進するためには、関係者がお互いに実際に顔と顔を合わせて、顔の見える関係性を深め、自らと異なる職種の専門性や役割を理解し、尊重し合い、知識や技術を活かし合うという意識を醸成することが必要であり、また、他職種への理解を進めることは、同時に自職種の専門性や役割の更なる理解にもつながる機会となる。

また、入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取りなどの高齢者への支援が必要な様々な局面で、関係者が切れ目なくスムーズに連携するための、地域に共通の仕組みやルールを提示し、それらに関係者の中で共通のものとして理解するための取り組みが必要である。

さらに、人材育成の一環として、医療・介護関係の職種を志す学生などに対し、多職種連携の重要性を理解してもらうため早期に適切なアプローチを行うことや、在宅医療を進めるための医療・介護関係者のチーム編成に必要な事柄を多職種間で検討することが必要だと考える。

## 《 研修の目的（テーマ）と内容 》

- (1) 相互理解の促進 ～ 顔の見える関係性の深化とお互いの専門性や役割の理解
  - ・医療関係者 ⇄ 介護関係者による研修
  - ・オープンカンファレンス
  - ・意見交換会の実施（平成31年度～）
- (2) 連携強化 ～ 関係者間の共通の仕組みやルールへの理解の促進と実践の強化
  - ・看取り～看取りについての理解促進、事例報告会等
  - ・入退院支援～「はこだて入退院支援連携ガイド」、「はこだて医療・介護連携サマリー」の活用促進のための学習会
  - ・急変時対応～好取組事例報告会（平成31年度～）

※各団体との共催  
 ※函館市医療・介護連携推進協議会の各部会・分科会との協働
- (3) 専門性の向上の取り組みへの支援と関わり
  - ～ 各種団体や各機関・事業所、個人で実施している研修への支援と関わり
  - ・各種団体等主催による研修会の広報の支援（研修情報の一元化）
  - ・先進的な研修を行っている各種団体等の情報収集と研修の共催等の協力の検討
  - ・出前講座の実施（在宅医療・在宅介護への理解の促進）
- (4) 人材育成 ～ 多職種連携を担う人材の育成
  - ※若年層（学生等）～研修会や勉強会への見学等（平成31年度～）
  - ※専門職～在宅医療チーム編成

## 《研修の形式》

下記の1, 2, 3を組み合わせで計画する

### 1. 規 模

- ・大規模研修会（200名以上）
- ・中規模研修会（100名程度）
- ・小規模研修会（30名程度）

### 2. 形 態

- ・座学講義型
- ・対話体験型（シンポジウム・事例検討・グループワーク等）
- ・OJT, 自己啓発→各団体, 各機関・事業所, 各個人で対応
- ・混合型

### 3. 対象者

- ・職種別
- ・職域別
- ・キャリアレベル別

## 《到達目標》

到達目標	①多職種連携における自 職種・他職種の役割が理 解できる	②多職種間のコミュニケ ーションの必要性が理解 でき、ネットワーク等を 形成できる	③多職種連携を実践し、 課題解決ができる	④多職種連携について、 （各専門職の職域におい て）指導的な立場で推進 できる
上級レベル	△	○	○	◎
中級レベル	○	◎	◎	○
初級レベル	◎	○	△	△

※キャリアレベルの目安（経験年数は多職種連携に関わっている概ねの年数とし、各個人・機関の判断とする）

上級レベル～管理者・リーダークラス

中級レベル～経験年数3年以上程度

初級レベル～経験年数3年未満程度

※到達目標を達成するための研修の場については、センターが実施する研修会等だけではなく、各種団体や各機関・事業所ごとの研修会等と協働し目標達成を目指す。

※各キャリアレベルに合わせた研修内容を継続的に実施できるよう年度計画を策定する。

## 《研修計画の策定と運営》

函館市医療・介護連携推進協議会および多職種連携研修作業部会と、函館市医療・介護連携支援センターとが協働して研修計画を策定し運営する。

ただし、協議会の他の部会・分科会が所掌する領域の内容の研修に関しては、その内容に対応する部会・分科会と調整または協働して運営することとし、また、研修の開催にあたってはその内容に関連する各種団体等の理解と協力を得ながら実施する。

## 《研修計画策定の基礎とする事柄》

○医療・介護連携推進に関するアンケート調査

（平成27年7月 函館市医療・介護連携推進協議会実施）

○グループワーク②「具体的な研修内容について」

（平成28年2月20日 函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会）

○センターの事業に含まれている内容で、連携強化のための仕組みやルールに関すること

## 《その他》

### 1. 研修会等の参加状況の把握と参加率の向上について

地域全体としての専門職の質の向上を目指すために、センター主催で実施する研修会等の参加状況を把握し、比較的参加率が低い医療機関や介護事業所に対しては、個別に訪問等を実施するなど、参加の障害となっている理由の把握に努めるとともに、研修会等の趣旨説明を併せて行うなどできるだけ理解を得られるよう努め、参加勧奨を行う。

### 2. 研修会等終了後のアンケート調査の実施とその活用について

研修内容の検証と評価を行うため、終了後にアンケート調査を実施して参加者の満足度や理解度などを把握するとともに、このアンケート結果を次回の研修内容や研修計画策定の際の参考とし、改善を図る。